



医療法人 湘南鎌倉総合病院
 沖縄徳洲会



〒247-8533
 神奈川県鎌倉市岡本1370-1
 Tel : 0467-46-1717(代表)
 Fax : 0467-45-0190
 URL : <http://www.shonankamakura.or.jp>

ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表が、ホームページをご覧ください。

また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

湘南鎌倉総合病院



公共交通機関でお越しの方へ

下記は運賃がかかります。ご了承ください。

大船駅より来院される方

- 大船駅西口（大船観音側）
 - 1番乗場 神・船32 渡内経由
 「藤沢駅北口」行
 公会堂前下車
 神・船101・102 公会堂前経由
 「城廻中村」行
 - 2番乗場 神・船34 「南岡本」行
 南岡本下車
- 大船駅東口交通広場ターミナル
 （湘南モノレール駅下バスターミナル）
 - 2番乗場 江・藤沢[弥]大船
 武田薬品前～弥勒寺経由
 南岡本下車
 「藤沢駅」行
 江・南岡本経由 「四季の杜」行



藤沢駅より来院される方

- 藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）
 - 4番乗場 神・船32 柄沢橋・渡内経由
 「大船駅西口」行
 公会堂前下車
 - 9番乗場 江・藤沢[弥]大船
 弥勒寺～武田薬品前経由
 「大船駅」行
 南岡本下車
- 藤沢駅南口（小田急デパート側）
 - 8番乗場 江・5301 アズビル前～
 武田薬品前経由
 「湘南鎌倉総合病院」行
 湘南鎌倉総合病院下車



駐車場利用 について

湘南鎌倉総合病院駐車場

	地上	地下
営業時間	0:00～24:00	7:00～21:00
台数	28台	231台
	患者	一般・面会
料金体系	最初 2時間 200円 以降 1時間 100円	1時間 200円

※患者さんは診察券が無いと一般料金となります

コーナン鎌倉モール
 1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料

Shonankamakura General Hospital

しようなんメール



医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

発行/湘南鎌倉総合病院 〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1

理念

「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」

Contents

医師紹介号

2 P〈職員紹介〉

2013年度 就任医師紹介

4 P〈研修管理委員会〉

2013年度 研修医紹介

6 P〈トピックス〉

・JMIP認証を取得しました

・人工膝関節センター 巽 一郎 医師

「膝、復活」発刊に寄せて

8 P〈病院案内〉

湘南鎌倉総合病院広報誌

Vol. 74



2013年
5月号

就任医師紹介



肝胆膵外科 部長

初めまして。肝臓・胆嚢（胆管）・膵臓の外科を専門としています。がん専門病院での勤務経験を活かし、お手伝いできればと思います。よろしくお願いします。

かわの のりあき
河野 至明



整形外科 脊椎脊髄センター 部長

長年勤めていた茅ヶ崎市立病院から、この度赴任しました。これまでの技術・知識・経験を活かして質の高い医療を提供し、湘南鎌倉総合病院を盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願いします。

とぐち あつし
戸口 淳



脳卒中診療科

脳卒中診療科へ入職しました丹野雄平と申します。早く業務内容に慣れ、湘南鎌倉総合病院の診療に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

たんの ゆうへい
丹野 雄平



精神科 部長

精神科は今年の4月に新設された診療科です。診察日は月、火、金曜日の午後1時から5時まで（予約制）です。丁寧な診療を心がけます。お気軽にご相談下さい。

くどう じゅんいちろう
工藤 潤一郎



脳卒中診療科

内科総合診療を2年間、神経内科を2年間やってきました。脳卒中のスペシャリストを目指して当院に参りましたが、他の訴えもないがしろにすることなく診療にあたります。

かさくら しげん
笠倉 至言



消化器病センター 医長

膵・胆道疾患を中心に消化器診療に従事してまいりました。特に内視鏡による早期診断、低侵襲治療に力をいれております。過不足の無い、より良い医療を目指して頑張ります。

こいずみ かずや
小泉 一也



小児科

4月から小児科に赴任した島です。よろしくお願いします。

しま たかし
島 貴史



放射線腫瘍科

放射線治療は手術と同じように病気を治癒させる根治的治療や、痛みなどの症状を和らげる緩和治療まで幅広い治療が行えます。少しでも多くの方に活用していただきたいです。

すずき りょうこ
鈴木 涼子

2013

2013年4月から、湘南鎌倉総合病院に就任する
医師をご紹介します。



放射線診断科

4月から放射線診断科で勤務することとなりました岡部と申します。鎌倉地域の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

おかべ てつひこ
岡部 哲彦



心臓血管外科

はじめまして。
4月より参りました。出身は神奈川県横浜市です。患者さんが笑顔で退院できますよう精一杯勤めてまいります。よろしく申し上げます。

にし さとし
西 智史



耳鼻咽喉科 医長

本年度より耳鼻咽喉科にてお世話になることになりました。不慣れなこともありご迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

すえつぐ としなり
末次 敏成



麻酔科

今まで救急・集中治療を中心に診療をしていましたが、麻酔科の知識・技能を勉強させていただくこととなりました。よろしく申し上げます。

かわぎし としおみ
川岸 利臣



臨床腫瘍遺伝子研究部 医長

これまで一般外科とがんの基礎研究に携わってきました。臨床と基礎、両方の経験を活かしてトランスレーショナルリサーチを中心とした研究体制づくりに役立ちたく思います。

あんど きよひろ
安藤 清宏



救命救急センター

医師歴36年。大学病院、国立病院機構、自治体病院の救命救急センターの立ち上げに参加した経験を活かし、裏方からサポートし救命救急センターの質の向上に努力したいと思っています。ご協力よろしく申し上げます。

ふくだ あつひろ
福田 充宏



整形外科

はじめまして。
整形外科で受診される患者さんや、スタッフのお役にたてますようにと念じております。湘南鎌倉で目の手術をしていただき、本当に世界が変わり感謝です。

もりや まどか
守屋 円

湘南鎌倉総合病院附属臨床研究センター センター長



ポジトロン断層撮影（PET）などの核医学や重粒子線がん治療を推進してきた放射線科医です。先端的技術の安全性・有効性を高い倫理規範のもとで科学的に実証し、診療に役立てます。

ささき やすひと
佐々木 康人

湘南鎌倉総合病院 臨床研修の理念

理念

徳洲会の理念に基づき、地域社会に根付いた救急医療の要望に応える医療人、高度先進医療に対応できる医療人、世界で活躍できる医療人、安心して最善の医療を提供できる医療人、医師である前に人であることを理解できる医療人を組織的に育成する。

基本方針

湘南鎌倉総合病院の研修の目標は、自分自身が良い臨床医になることだけでなく将来若い人達を育てられる良い指導医になることである。

良い臨床医とは、患者さんに対して empathy（共感）を持ち、全人的に診断ができ、的確な診断治療を行える医師のことである。

この目標が達成できるように研修体制には以下のような工夫がなされている。

1. 医療に集中できる
2. チーム医療の研修ができる
3. Primary care, Emergency care の研修、各専門診療の研修が充実している
4. 必須に加え、選択ローテーションができる
5. 離島僻地医療を体験することができる
6. 研修修了後に指導医として活躍できる
7. 学会活動ができる

湘南鎌倉総合病院は、平成8年より厚生労働省の臨床研修指定病院の認可を受け、研修医の育成に力を入れている病院です。平成25年度は、18名の新研修医が入职をし、日々、医師として研修を受けております。彼ら彼女らはもう5年もすると多くの事が出来る立派な医師になり、地域医療の中核を担う事になります。当院での研修は全国的にも厳しい環境での研修と言われています。

その中で多くの事を学びます。断らない医療で始まり断らない医療で終わる、を体で覚える大事な時期を過ごしています。受診された患者さんが少しでも満足して頂けるよう日々研鑽しています。地域の中核病院であり続けることを心に刻み込むべく、例年以上

にはりきっている研修医達です。どうぞ宜しくお願い致します。



研修管理委員会 委員長
長渡部 和巨



あこう しほ
赤穂 史帆

花咲くこの季節に仕事を始められることを、うれしく思います。初心を忘れることなく、自分の限界に挑戦し続けるような研修にしていきたいと思えます。どうぞご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



あらい ともひろ
荒井 智大

新研修医一年目の荒井智大と申します。大学時代は仙台に住んでいて、クロスカントリースキーに打ち込んでいました。何事にも真剣に、努力していく所存です。これからよろしくお願い致します。



いまいりょうすけ
今井 亮介

名古屋からやってまいりました。この湘南の爽やかな海の香りと人の温かさを感じ、この地で働くことができる喜びを噛み締めております。皆様のお役に立てますよう精一杯頑張ります。



うらやま まさし
浦山 将司

はじめまして。富山県から参りました浦山将司と申します。憧れの湘南の地で過ごすに当たり、期待と不安でいっぱいですが、着実に成長していきますので、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



くまがえ ともひろ
熊谷 知博

茨城から来ました、熊谷知博と申します。ここ湘南鎌倉総合病院で患者さんの不安を少しでも取り除いていけるよう、全力で働いていこうと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



くろだしゅん
黒田 駿

このたび4月からお世話になります黒田と申します。中・高・大とバスケをしていました。バスケ好きな方、声を掛けてくださると嬉しいです。これから2年間「熱く」研修していきたいので、よろしくお願い致します。



こののぶじ
河野 伸次

大学では卓球部に所属し、練習以外では試合のビデオを見たり雑誌を読んで研究したりと楽しくやっていました。辛いことがあっても、明るく前向きに、元気にやっています。



こんどう あきら
近藤 晃

日本大学出身の近藤晃です。モチベーションの高い先輩・仲間と囲まれながら、自分自身成長していきたいと思っています。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



さかい ゆう
酒井 優

初めまして。岐阜大学出身の酒井と申します。湘南鎌倉総合病院の皆さんと仲良くさせて頂きたい気持ちでいっぱいです。院内で見かけたら気軽に声をかけてください！！よろしくお願い致します。



しみず だい
清水 大

岡山大学から来ました、清水大と申します。「大」とか「大ちゃん」と呼んでください。ただ間違っても「大先生」とは呼ばないでください。早く湘南鎌倉の皆様のお役にたてるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



てらね あや
寺根 亜弥

富山大学出身の寺根亜弥と申します。生まれも育ちも北陸で、初めて関東に来たので緊張していますが、この病院で医師としての第一歩を迎えられることを楽しみにしています。よろしくお願い致します。



なかの ひでひこ
中野 秀比古

初めまして、東京大学出身の中野です。学生時代から好きだった湘南で働かせていただけることになりとても楽しみです。皆様のお役に立てるよう、一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。



ひらた ゆみえ
平田 有美恵

聖マリアンナ医科大学から来た平田有美恵と申します。忙しい仕事の中でも向上心に溢れ、また科の隔たりなく自由に意見交換できる雰囲気惹かれ、こちらに参りました。どうぞよろしくお願い致します。



にいつ たかゆき
新津 敬之

初めまして！大阪から来ましたニーツと申します。研修医として皆様のお役に立てるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。喋るのが大好きなので、見かけたら気軽に声をかけて下さい！



ふなき ゆたか
船木 裕

同じ神奈川の東海大学出身の船木です。湘南鎌倉で仲間と共に笑顔と熱意を持っていけたらと思っています。見かけたら気軽に声をかけて下さい。2年間よろしくお願い致します。



ほそかわ きょうすけ
細川 恭佑

金沢大学出身の道産子、細川恭佑です。4月から湘南鎌倉総合病院で働かせて頂くことになりました。患者さんのお力になれるよう、日々精進していきますので、よろしくお願い致します。



まつもと ようすけ
松本 陽介

新潟大学出身の松本陽介と申します。6年間新潟で雪にまみれて暮らしていましたので、太陽が恋しくなり、湘南という地を選びました。誰よりも頑張りますので、よろしくお願い致します。



みさか さとき
美坂 聡樹

初めまして。広島県から来ました美坂と申します。宮崎大学出身で6年間ヨットをしていました。この湘南の地でしっかりと勉強して地域の医療に貢献したいと思っています。よろしくお願い致します。

外国人患者受入れ医療機関認証制度「JMIP」を取得しました

この度、湘南鎌倉総合病院は外国人患者受入れに関する認証制度「JMIP」の認証を取得いたしました。国内で第1番目の認証取得となります。

「JMIP」とは

JMIPとは「Japan Medical Service Accreditation for International Patients」の略称であり、日本語での名称は「外国人患者受入れ医療機関認証制度」となります。

厚生労働省が、「外国人の方々が安心・安全に日本の医療サービスを楽しむことができるように」、外国人患者の円滑な受け入れを推進する国の事業の一環として策定し、一般社団法人日本医療教育財団が医療機関の外国人受け入れ体制を中立・公平な立場で評価する認証制度です。

審査内容に関しては大きく5つに分かれており、

1. 受け入れ対応
2. 患者サービス
3. 医療提供の運営
4. 組織体制と管理
5. 改善に向けた取り組み

で構成されています。

当院ではJCI認証（国際認証）を取得後、外国人患者が増えることを想定し、外国人患者にとっても安心・安全な環境を整えるために受審を決定し、準備を進めました。

エレベータ横に設置されている英語・中国語・フランス語・ロシア語のフロア案内表示は環境整備の一つとなります。（右写真）

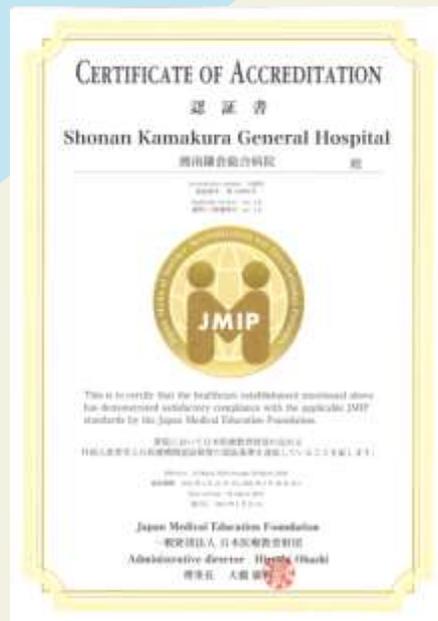
また、その他の院内表示に関しても、日英併記への変更が進められ、説明文書・同意書・献立表など、さまざまな文書の英語翻訳が行われました。

さらに、通訳などの依頼手順を作成し、全部署で円滑な対応を行うために部署間の連携方法なども決定しました。

しかしながら、「認証取得イコール完璧な体制」ということはないため、限りのある外国人患者の対応経験から問題事項を明確にし、継続的に改善していく必要があります。さらに、患者さんの国籍・言語・宗教などにより対応内容に差が生じないように、全職員に対し、構築された体制、文化や言語の教育や研修を行っていくことが課題となります。

2階に設置されている国際医療支援室では、外国人患者の対応に特化し、国内・国外からの外国人患者に関する情報の交通整理を行い、院内での混乱や、地域の患者さんへご迷惑が掛からないように業務を遂行しています。

以上のことにより、徳洲会グループが掲げる理念のひとつである「誰も」が平等に受けられる医療の実現に向け、時代の変化に応じた取り組みを推進していきます。



「JMIP」外国人患者受入れ医療機関認証制度
認証書



膝、復活

立つ、座る、歩く、
人生の晩年は膝で決まる

人工膝関節センター長 巽 一郎 医師

発刊に寄せて

人工膝関節センターのたつみです。今回、小学館の“いきいき100歳までプロジェクト”の片寄さんから依頼があり、本を出版させていただきました。医学論文とは違い、一般文庫の出版という、自分にとって未知の世界を経験させていただき感謝しています。ホテルでカンヅメになり3日間連続徹夜という経験は、学生時代の試験前以来であり、さすがに50歳を超えた体には少しこたえました。

これから高齢者で溢れていく日本を、30年前のように元気にしくて、協力させていただきました。片寄さんにお話したことは、現代医学の矛盾点です。私が研鑽して来た整形外科にも言えることですが、現代医療は対症療法に終始していて、本当に病気を治すことからどんどん遠ざかっている気がします。当科は膝が痛くて歩けなくなって来た高齢者に、再び痛み無く歩けるようにするのが仕事です。なるべく手術をしないで、これを実現できるように努力しています。その夢を信じて努力が出来た人は、これが実現出来ています。手術をしないで痛みなく歩けるようになることは、膝関節センタースタッフ全員の夢であり、患者さんの夢でもあります。

出版社 小学館
著者 巽 一郎 / 聞き書き 片寄 斗史子
ISBN 978-4-09-304704-3

いきいきネット株式会社
TEL 03-5206-5221

【結果発表】

西洋医学は結果がすべてです。人工膝関節センターの保存療法の結果を、2011年クリニカル・リハビリテーションという雑誌7月号に発表しました。全国から当科に膝の手術を、と紹介いただいた患者さん1579名。どの方もレントゲン撮ると、軟骨が消失し歩き出しの痛みがひどい方でした。じっと座っていれば、そんなに痛みはありませんが、歩いた後・歩きはじめの痛みは大変なものがありました。

当院で初診を受け、保存療法を3ヶ月から半年間頑張られました。その結果、初診時の痛みが半減から2/10程度になった方が734名（46%）でした。この方達は、もう半年間 保存療法を継続することを希望されました。かたや残念ながら保存療法を行ったけど、初診時の痛みがほとんど改善しなかった方が845名（54%）。この方達は順次手術の予定を組みました。手術群になったこれらの方達は手術に向け、さらに大腿四頭筋訓練と、減量・歩き方の改造に努めました。845名のうち、手術までに痛みが改善し、手術をキャンセルした方が57名（6.7%）。これらドタキャン群の方達は、保存療法群にもどり、痛みの少ない日常生活に戻られました。57名のドタキャンが出たおかげで、激痛があり、手術を待てない緊急群の方達の手術が出来ました。世の中は上手く出来ているなど、膝関節センターの職員どうして感心したいです。

【対症療法】

甘いもの（スイーツ）、おいしい料理を食べ過ぎて、お腹回りが3倍になった方達。究極の対症療法として、脂肪摘出術・胃を半分以下に切る手術があります。これは誰が見ても自然に反した、ただの対症療法であり、体にとっても悪いことが理解出来ます。しかし、漫然と全世界で行われている西洋医学でもあります。本当は、原因である食べ過ぎを治療するべきです。それから目を背けて結果だけをもぎ取る方法が対症療法です。

上記は判りやすい例ですが、風邪や腰痛、その他多くの病気においても、大なり小なり西洋医学の対症療法が漫然と行われている現状があります。医師とよく相談して、本当の原因と向き合ってみることが、本当の健康を取り戻す方法であると思います。今回はそんなことを本にさせていただきました。

人工膝関節センターには上野先生、野中先生と若いパワフルな2名の先生が仲間に入ってくれました。

2人とも器用で素晴らしい手術技術を持った上で、外来では（手術などで）切らないように頑張る方法を患者さんと話してくれています。看護師さんも、努力して手術が要らなくなった患者さんを満面の笑顔で迎えてくれています。

本来の健康を取り戻せる医療を、このチームで追求していけることが、今とっても楽しい毎日です。膝が痛くて不安になった方は、5階の人工膝関節センターをちょっと覗きにきてください。

